



福谷章子のまちづくり通信

- ▶市民が主役のまちになるために！
- ▶市政や議会のことを正しくわかりやすく伝えたい！
- ▶人と人をつなげたい！

～みなさんの声を受けて～

3月に入り、まちづくり通信「これまでの歩み、そして未来へ」をお渡ししながら、出会った方々と対話を重ねさまざまなご意見をうかがいました。

予想以上に高齢化が私たちの生活に影響を及ぼしています。地域包括ケアが始まりますが、現状は待ったなし！です。「できることから始めなければ！」という思いを強くしています。そこで、提案している「7つのめざすまちづくり（裏面参照）」の中から、「おおらかなまちづくり」と、「最後まで安心して暮らせるまちづくり」について、現状と今後についてまとめてみました。

こんな声が寄せられています①

1人暮らしで、身の回りのことはできますが、足が弱って出かけられず、他人との交流がなかなかできません。

認知症の介護で途方にくれています。

夫婦2人で暮らしていますが、病気のパートナーを抱えて心配です。

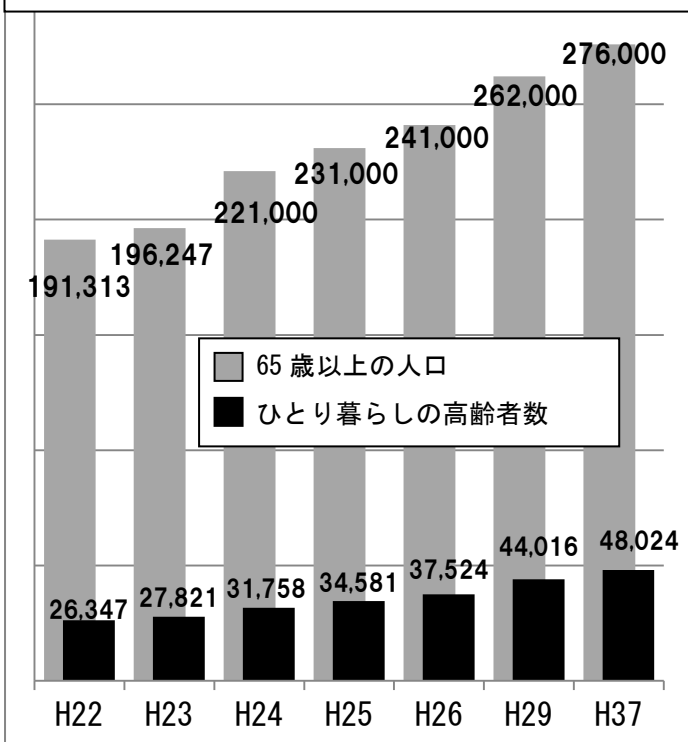


～～高齢者の不安の声～～

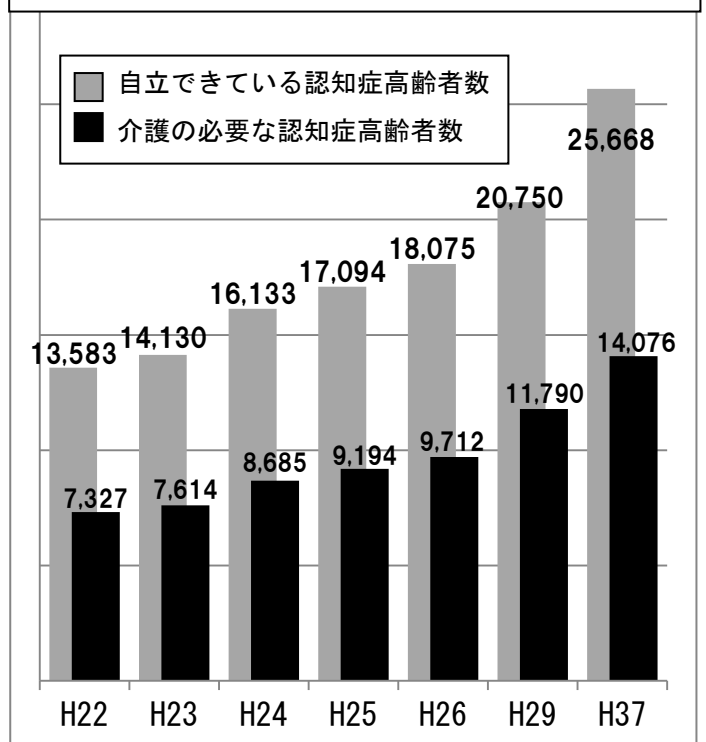
これらは、今は元気でもあつという間に降りかかる課題です。千葉市の現状を見てみると、ひとり暮らしの高齢者は着実に増え（図1）、さらに、認知症高齢者も増加する（図2）ことから、認知症に対する地域の理解も広げていく必要があります。

出典：千葉市高齢者福祉推進計画掲載の図より

（図1）ひとり暮らしの高齢者は増えていく



（図2）増加する認知症高齢者



こんな声が寄せられています②

～地域への絆に関する課題～

心配な人がいるけれど、どのようにしてサポートして良いかわかりません。

立ち話をする機会が減り、地域のことを知る機会がなくなりました。

買い物をする場が無くなり、地域の人と出会って情報交換する機会が減りました。



地域での見守りの体制や、移動のサポートは大きな課題です。

住民同士の助け合いで移動支援や家事支援に取り組み始めていますが、そこに行政がどのように関わるかが課題となります。思い切った多世代の居場所づくりや、見守り支援の拠点づくり、そして交通政策と福祉政策との融合に積極的に取り組む必要があります。

地域生活支援の取り組み事例

お出かけ支援

- ・社会福祉協議会と老人福祉施設協議会が連携して大宮台地区で2月12日から始めたモデル事業。特養の送迎車を活用して買物支援をする。利用できるのは70歳以上で日頃の買い物に不便を感じている人。火・木・金の三日間のバスが空いている時間に運行している。利用できるのは1週間に1回。

見守り支援

- ・地域のグループや自治会、社会福祉協議会の地区部会などが自主的に取り組んでいる。
- ・千葉市とセブンイレブンの包括協定により、食事の宅配（セブンミール）をする際に、利用者を見守る取り組みが始まっている。

- ▶認知症サポーターの養成と活躍の機会を考える...
- ▶認知症の人たちが立ち寄れる場を作る...
- ▶一人ひとりがつながり、顔の見える関係を作る...
- ▶機能が低下していくプロセスを理解する...

そんな些細なことで、互いに許し合い、ゆっくりした動作を待つことができるようになります。それが、これからめざす「おおらかなまちづくり」と「最後まで安心して暮らせるまちづくり」につながります。



～これからめざすまちづくり～

- おおらかなまちづくり
- 子どもたちが自己肯定感を持ち社会を信頼して参画できるまちづくり
- 公共財を見直し一人ひとりが輝くまちづくり
- 最後まで安心して暮らせるまちづくり
- 食と環境を守るまちづくり
- 千葉市の可能性を引き出すまちづくり
- 議会といっしょにまちづくり

ご意見・ご要望をぜひお寄せください

福谷章子事務所 (月～金 10時～14時)

〒266-0031

千葉市緑区おゆみ野3丁目40-8 河野ビル213号

Tel & Fax 043-312-2903

Mail fukutani2903@gmail.com

ウェブサイト <http://fukutani-office.com>

ブログ http://blog.goo.ne.jp/shoukosan_001

Facebook <https://www.facebook.com/fukutani2903>

Twitter <https://twitter.com/shoukosan>